

# 令和元年度 施策評価シート

基本目標	V	区民と区が協働で「すみだ」をつくる
政策	520	生涯学習・スポーツ活動の輪が広がるまちをつくる
施策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる
施策の目標	子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、誰もが気軽にスポーツを楽しみ、スポーツを通じた仲間づくりや、地域での交流が行われています。	

## 1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「週に1回以上運動・スポーツをしている」成人区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					45.0					50.0
実績	38.6	40.2	40.2	40.9						
指標名	「いつでもスポーツを楽しむことができる環境が整備されている」と思う区民の割合									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標					55.0					58.0
実績	49.9									

## 2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移(千円)	
<p>指標の実数値は、住民意識調査で把握しているが、30年度の調査結果は前回より0.7%上昇している。東京オリンピック・パラリンピックの開催を区民のスポーツ気運を高める好機ととらえ、スポーツ実施率向上のため、既存事業の更なる充実や新たなスポーツイベントの開催などに取り組んでいく。</p> <p>また、令和元年12月オープン予定の総合運動場を活用した事業等を検討し、ソフト・ハードともに環境整備を進め、指標の目標値に近づけるよう努めていく。</p>	H28	49,938
	H29	54,378
	H30	53,405

## 3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
C	各事業について必要性は高いと判断しているが、スポーツ実施率が低い世代があるため、スポーツをする環境をハード・ソフト両面から工夫する必要がある。

## 4 今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
○	(1) 優先的に資源投入を図る。
	(2) 現状維持とする。
	(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】	
本区の高齢化率は今後も進んでいくことが予測されており、生涯スポーツの促進や競技スポーツの振興は、区民の健康増進及び体力向上の観点からも、欠かすことのできない重要な施策となっている。	
【今後の具体的な方針】	
<p>区の住民意識調査の結果によると、30代から40代の子育て・働き盛り世代のスポーツ実施率が低くなっている。運動やスポーツに親しむことは、地域との交流や親子がふれあう機会の創出、生活習慣病の予防等の観点からも有意義で、こうした世代に対するきめ細かなアプローチが必要である。合わせて、区民が健康で豊かな生活を送れるよう、誰もが運動やスポーツを楽しめる環境を整備していく必要がある。2020年のオリンピック・パラリンピックに向けて、スポーツや健康づくりに対する機運も高まってきていることから、総合運動場等を活用した障害者や多世代がスポーツを実施できる機会を充実していく。</p>	

5 この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出 決算額 (千円)	人コスト (千円)	歳出 総額 (千円)	施策への関連性	目的に対する指標		直近の評価内容	
						年度目標値	評価結果	年度実績値	評価対象年度
1	障害者(児)スポーツレクリエーション大会運営費	3,170	5,906	9,076	当該事業を通じ障害者の健康の保持・増進と啓蒙・周知を図ることにより、障害がある方も気軽にスポーツをすることができるようになる。また、地域交流の場としての役割もあり、障害者施設の利用者が自らスポーツを行うようになることが期待できる。	43	改善・見直し		
						40.9		平成30年度	
2	区民スポーツ教室経費	11,142	4,922	16,064	あらゆる区民がスポーツ活動に参加するきっかけとし、区民の健康増進及び体力向上を図る。	43	改善・見直し		
						40.9		平成30年度	
3	スポーツ施設開放事業	4,460	1,969	6,429	当該事業を通じ区民のスポーツ振興及び地域交流の促進を図ることにより、スポーツをすることの敷居が低くなり、気軽にスポーツをすることができるようになる。また、施設開放事業で地域交流が促進されることにより、地域で自らスポーツを行うようになることが期待できる。	43	改善・見直し		
						40.9		平成30年度	
4	区民体育大会・都民体育大会	6,884	7,875	14,759	スポーツを愛好する区民にとって、日頃の練習の成果を発揮する絶好の機会となっている。	43	現状維持		
						40.9		平成30年度	
5	区民体育祭(総合開会式含む)	7,376	9,843	17,219	スポーツを愛好する区民にとって、日頃の練習の成果を発揮する絶好の機会となっている。	43	現状維持		
						40.9		平成30年度	
6	墨東五区大会事業費	1,775	2,953	4,728	区を越えた交流の場であり、区民大会参加者から代表を選出する等、競技スポーツの振興に資する事業である。	43	現状維持		
						40.9		平成30年度	
7	区民納涼民踊大会	1,009	984	1,993	区民相互の親睦を深め、地域の活性化が図られている。	43	改善・見直し		
						40.9		平成30年度	
8	姉妹区親善スポーツ大会運営費	89	2,953	3,042	区民のスポーツ活動への参加を促すと共に、姉妹区である台東区との親善交流を深めることが目的である。	43	改善・見直し		
						40.9		平成30年度	
9	ホームタウン・スポーツチームの育成	374	984	1,358	スポーツ振興を通じた地域コミュニティ活動の形成や活性化を図ることにより、地域で自らスポーツを行うようになることが期待できる。また、体力向上を図ることにより、子どもたちはより気軽にスポーツを行うことができるようになる。	43	改善・見直し		
						40.9		平成30年度	
10	野球場の借上げ事業	17,126	984	18,110	野球場を借り上げ、貸し出すことにより、区民が自由にスポーツ(野球)を楽しむ場所を確保している。	80	統合		
						65.9		平成30年度	

# 令和元年度 事務事業評価シート

施 策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる	部内優先順位
事 業 名	障害者(児)スポーツレクリエーション大会運営費		1
目 的	当該事業を通じ障害者の健康の保持・増進を図るほか、障害がある方も気軽にスポーツをすることができるようにする。また、地域の交流の場として、障害者施設間をはじめとする各団体の相互理解、親睦を深めること、一般区民への啓蒙・周知を図る。		主管課・係(担当)
			スポーツ振興課スポーツ振興担当 5608-6312
対 象 者	区内障害者施設の利用者		
根拠法令 関連計画	スポーツ基本法第22条		
実施基準	法令基準	実施方法	一部委託
	人員体制・委託先		(人員体制)常勤3人 (委託先)特定非営利活動法人のぞみ外
事業内容	<p>例年、10月第3日曜日に墨田区総合体育館において、各障害者団体、福祉作業所等の利用者及びその家族が参加する運動会型レクリエーション大会を行っている。</p> <p>内容については、各団体から実行委員を選出し、実行委員会において決定し、買い物競走・玉入れ・パン食い競走など、全13種目を実施している。運営は、スポーツ推進委員、その他の協力団体により行っている。</p>		
経 過	開始年度	昭和56年度	終了予定
	昭和56年の国際障害者年を契機として開催され、以後継続している。		
議会質問 の 状 況	<p>【H28第4回定例会(11.29):井上議員】</p> <p>①スポーツに参加したい障害者や障害児が増えているが、使える施設が少ないし、指導者もいない。パラリンピックの選手に依頼してスポーツ教室を開催してはどうか。また、障害者のプールの使用について、もっと機会を増やすことはできないか。</p> <p>→東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、障害者スポーツの振興を図っていくことは大変重要である。総合体育館では、障害者スポーツ・レクリエーション大会等を開催しており、こうしたイベントを契機に、パラスポーツの指導者を招きスポーツクリニックなどを開催することができれば、障害者スポーツの普及・振興の観点からも大変有意義であるため、今後検討していく。</p>		
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等) 例年、10月第3日曜日に実施。		

予算・決算額推移(千円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額(事業費)		2,362	2,521	2,918	3,092	3,340	3,748
決算額(令和元年度は見込み)		2,276	2,397	2,821	2,972	3,170	3,748
財 源	国						
	都			2,256	2,377	2,535	3,000
	その他						
一般財源		2,276	2,397	565	595	635	748
執行率(%)		96.4%	95.1%	96.7%	96.1%	94.9%	100.0%

予算・決算の内訳(単位:千円)								
平成29年度(決算)			平成30年度(決算)			令和元年度(予算)		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	競技役員等謝礼	313	報償費	競技役員等謝礼	354	報償費	競技役員等謝礼	418
需用費	消耗品の購入外	980	需用費	消耗品の購入外	1,103	需用費	消耗品の購入外	1,225
役務費	傷害保険料	50	役務費	傷害保険料	50	役務費	傷害保険料	50
委託料	設営委託等	1,395	委託料	設営委託等	1,418	委託料	設営委託等	1,787
使用料及び賃借料	施設使用料	235	使用料及び賃借料	施設使用料	245	使用料及び賃借料	施設使用料	268

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		975	R7	目標	750	775	800	825
				実績	770	743	726	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	850	875	900	925	950	975
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	<p>(指標の選定理由)スポーツを行う場及び交流の場として、継続して参加している区内障害者施設の利用者の数を計測する必要があるため。</p> <p>(目標値の理由)スポーツに関心を持っている区内障害者施設の利用者による参加者数の増を想定した。ただし、過去の実績から大幅な増加は見込めないことから、目標値は慎重に設定した。</p>							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	スポーツ実施率				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
50		R7	目標	41	42	43	44	
			実績	38.6	38.6	40.9		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		45	46	47	48	49	50	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
<p>(指標の選定理由)障害者(児)スポーツレクリエーション大会を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するのかを図る必要があるため。</p> <p>(目標値の理由)スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。</p>								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	毎年一定の参加者がおり、リピーターも多いことから区民のニーズがあるといえ、当該事業の必要性は高い。また、区内障害者施設の利用者が一堂に集まる数少ない事業であり、地域交流の場として重要であることから、今後も安全面等を考慮して改善しながら継続していく。

課題・問題点
・大会実施工程や種目を工夫・改善し、より多くの区内障害者施設の利用者が参加できるようにする必要がある。

施 策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる	部内優先順位
事 業 名	区民スポーツ教室経費		2
目 的	すべての区民が参加できるスポーツ活動の場を設け、区民の健康増進及び体力向上を図る。		主管課・係（担当）
			スポーツ振興課スポーツ振興担当 5608-6312
対 象 者	区内在住・在勤・在学の成人		
根拠法令 関連計画	スポーツ基本法第22条		
実施基準	法令基準	実施方法	全部委託 人員体制・委託先 (人員体制)常勤2人 (委託先)特定非営利活動法人スポーツアアずま、特定非営利活動法人両国倶楽部
事業内容	以下の各種スポーツ教室について、委託を行う。 (1)ちょっと楽しいスポーツ教室 ・バドミントン・ミニテニス・ビーチボールバレー・ラージボール卓球といったニュースポーツの体験教室 ・毎回の教室では、スポーツ推進委員が指導者として教室を行う。 (2)高齢者健康体操教室 ウォーキング、ストレッチング、ボールを使ったエクササイズ、リズムダンスなど高齢者（区内在住の65歳以上で要介護認定を受けていない者）の健康増進を目的とした体操教室 (3)ボート教室 ファミリー向けの初心者ボート体験教室		
経 過	開始年度	以下のとおり	終了予定
	(1)ちょっと楽しいスポーツ教室 ・昭和51年度から北部と南部の小学校等で実施している。 ・平成23年度からは第四吾孺小学校及び外手小学校で実施している。 (2)高齢者健康体操教室 ・昭和52年度から社会体育課体育係（現スポーツ振興課スポーツ振興担当）から体育館へ事業を移管した。 ・平成22年度、総合体育館の新築に伴い、体育館からスポーツ振興課スポーツ振興担当に事業を移管した。 (3)ボート教室 平成27年度から平井橋水防倉庫で漕艇庫を供用したため、ボート教室を実施している。		
議会質問 の 状 況	【H28予算特別委員会(3.11)井上委員】 ①スポーツ教室などでも、参加者は女性が大変多く、男性の高齢者は少ない。介護予防の観点から、男性にももっと積極的に、スポーツやいろいろな地域の活動に参加してもらいたい。 →スポーツ振興の観点からは答弁なし		
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)		

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）		1,291	1,350	1,350	11,150	11,221	11,045
決算額（令和元年度は見込み）		1,286	1,350	1,350	11,089	11,142	11,045
財 源	国						
	都				3,402	3,402	3,530
	その他	120	172	172	2,412	2,412	2,412
一般財源		1,166	1,178	1,178	5,275	5,328	5,103
執行率（%）		99.6%	100.0%	100.0%	99.5%	99.3%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
委託料	ちょっと楽しいスポーツ教室	1,402	委託料	ちょっと楽しいスポーツ教室	1,402	委託料	ちょっと楽しいスポーツ教室	1,413
	高齢者健康体操教室	8,994		高齢者健康体操教室	9,046		高齢者健康体操教室	9,142
	ボート教室	491		ボート教室	491		ボート教室	491
	障害者水泳教室	180		障害者水泳教室	180			
使用料及び賃借料	障害者水泳教室	25	使用料及び賃借料	障害者水泳教室	25			

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		18,000	R7	目標	13,000	13,500	14,000	14,500
				実績	13,965	14,643	15,378	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	15,500	16,000	16,500	17,000	17,500	18,000
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由)スポーツを行う場及び交流の場として、継続して参加している区民の数を計測する必要があるため。 (目標値の理由)積極的な広報を行うとともに、ロコミ等による新たな参加者の増加も想定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	スポーツ実施率				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
50		R7	目標	41	42	43	44	
			実績	38.6	38.6	40.9		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		45	46	47	48	49	50	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
(指標の選定理由)区民スポーツ教室事業を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するのかを図る必要があるため。 (目標値の理由)スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	スポーツをする機会の確保、スポーツを通じた地域コミュニティの醸成・活性化策として有効であるとともに区民の健康増進・体力向上に資する施策である。今後さらなる周知を行い、スポーツ実施率向上を目指す。

課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちょっと楽しいスポーツ教室 南部地域(外手小学校)の受講者が少ない。また、小学校の体育館を会場としているが、その確保が困難となっている。</li> <li>・高齢者体操教室 教室で使用しているボールやマットなどの用具が破損・不足している。</li> <li>・ボート教室 年度によって、参加者数にバラつきがあるため、積極的な広報を行う必要がある。</li> </ul>



事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		6,300	R7	目標	5,850	5,900	5,950	6,000
				実績	5,866	6,128	6,105	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標	6,050	6,100	6,150	6,200	6,250	6,300	
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由)スポーツを行う場及び交流の場として、継続して参加している区民の数を計測する必要があるため。 (目標値の理由)積極的な広報を行うとともに、口コミ等による新たな参加者の増加も想定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	スポーツ実施率				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
50		R7	目標	41	42	43	44	
			実績	38.6	38.6	40.9		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標	45	46	47	48	49	50		
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
(指標の選定理由)スポーツ施設開放事業を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するかを図る必要があるため。 (目標値の理由)スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	一定数の参加者がいることから、区民のスポーツ振興及び地域交流の促進を図る手段としてスポーツ施設開放は適切であると思われる。また、地域交流の場としても参加者には定評があり、参加者が友人を連れてきて新たな交流が生まれる等の波及効果もあることから、今後も改善しながら継続していく。

課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・未経験者及び初心者が新規参入しやすい環境をつくれるよう、指導員と協力していく必要がある。</li> <li>・学校の統廃合等により、実施可能な施設が減少してきているため、事業の実施場所確保のため、中学校、旧学校施設との連携を図るとともに、施設の確保ができない場合はその他の施設の利用も検討する必要がある。</li> </ul>



事業の 成 果	手 段 に 対 する 指 標 (活動指標)	指 標	延参加者数(区民体育大会・都民体育大会)				単 位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		11,000	R7	目標	10,500	10,500	10,500	10,500
				実績	9,887	9,378	9,022	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	10,500	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	<p>(指定の選定理由)競技者として大会に参加する区民の数を計測する必要があるため。  (目標値の理由)スポーツに関心を持ち、体力・技術の向上を目的に、競技者として大会に出場する参加者数の増を想定した。  ただし、競技者の大幅な増加は見込めないことから、目標値は慎重に設定した。</p>							
	目 的 に 対 する 指 標 (成果指標)	指 標	スポーツ実施率				単 位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
50		R7	目標	41	42	43	44	
			実績	38.6	38.6	40.9		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		45	46	47	48	49	50	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
<p>(指標の選定理由)区民体育大会を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するかを図る必要があるため。  (目標値の理由)スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。</p>								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	競技スポーツ振興の根幹的な事業であり、墨田区体育協会加盟団体により効果的な運営がされている。しかし、近年全体参加者数が減少傾向にあるため、PR方法や実施方法を改善しながら参加者の増加を目指していく。

課題・問題点
大会競技日数の増加により休日に会場を多く使用するため、一般区民のスポーツする機会を奪いかねない。そのため、効率的な大会運営について、各競技団体と協議していく必要がある。

施 策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる			部内優先順位
事 業 名	区民体育祭運営費				5
目 的	各種スポーツ競技大会を開催し、日頃の成果を発揮する場を設け、区民のスポーツ活動への参加意欲を高め、併せて健康増進と体力・技術の向上を図る。また、大会を通じて区民相互の交流を深める。				主管課・係（担当）
					スポーツ振興課スポーツ振興担当 5608-6312
対 象 者	区内在住・在勤・在学者				
根拠法令 関連計画	スポーツ基本法第22条				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	(人員体制)常勤2人
事業内容	墨田区民体育祭(秋季大会)は、その名のとおりまさに体育の祭典であり、多種目にわたり競技が行われる。なお、各種目の入賞者には区から賞状、メダル等を、優勝者には区長杯が授与される。				
経 過	開始年度	昭和22年度	終了予定		
	昭和22年、憲法施行記念都民大会が開催されたことを契機に行われた。その後、種目や参加選手数が増えたことや、都民体育大会派遣選手の選考などから区民体育大会を春に、区民体育祭を秋に実施することとした。				
議会質問 の 状 況					
そ の 他 特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)				

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額（事業費）		7,258	9,277	7,294	7,849	7,895	8,315
決算額（令和元年度は見込み）		6,757	8,284	7,033	7,510	7,376	8,315
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		6,757	8,284	7,033	7,510	7,376	8,315
執行率（%）		93.1%	89.3%	96.4%	95.7%	93.4%	100.0%

予算・決算の内訳（単位：千円）								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額
報償費	総会開会式チア指導者謝礼金	5	報償費	総会開会式チア指導者謝礼金	10	報償費	総会開会式チア指導者謝礼金	10
需用費	大会メダル・楯等購入	1,748	需用費	大会メダル・楯等購入	1,473	需用費	大会メダル・楯等購入	1,886
委託料	駅伝・ロードレース大会会場設置委託	184	委託料	駅伝・ロードレース大会会場設置委託	197	委託料	駅伝・ロードレース大会会場設置委託	217
使用料	大会等会場使用料	2,508	使用料	大会等会場使用料	2,581	使用料	大会等会場使用料	2,986
負担金及び補助金	墨田区体育協会補助金(区民体育祭区共催費)	3,066	負担金及び補助金	墨田区体育協会補助金(区民体育祭区共催費)	3,116	負担金及び補助金	墨田区体育協会補助金(区民体育祭区共催費)	3,216

事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数(区民体育祭)				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		14,500	R7	目標	14,000	14,000	14,000	14,000
				実績	13,638	13,186	12,904	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	14,000	14,500	14,500	14,500	14,500	14,500
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指定の選定理由)競技者として大会に参加する区民の数を計測する必要があるため。 (目標値の理由)スポーツに関心を持ち、体力・技術の向上を目的に競技者として大会に出場する参加者数の増を想定した。 ただし、競技者の大幅な増加は見込めないことから、目標値は慎重に設定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	スポーツ実施率				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
50		R7	目標	41	42	43	44	
			実績	38.6	38.6	40.9		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		45	46	47	48	49	50	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
(指標の選定理由)区民体育祭(総合開会式含む)を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するのかを図る必要があるため。 (目標値の理由)スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	競技スポーツ振興の根幹的な事業であり、墨田区体育協会加盟団体により効果的な運営がされている。しかし、近年全体参加者数が減少傾向にあるため、PR方法や実施方法を改善しながら参加者の増加を目指していく。

課題・問題点
大会競技日数の増加により休日に会場を多く使用するため、一般区民のスポーツする機会を奪いかねない。そのため、効率的な大会運営について、各競技団体と協議していく必要がある。



事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		700	R7	目標	650	650	650	650
				実績	644	678	892	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	650	700	700	700	700	700
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由)競技者として大会に参加する区民の数を計測する必要があるため。 (目標値の理由)スポーツに関心を持ち、体力・技術の向上を目的に競技者として大会に出場する参加者数の増を想定した。ただし、競技者の大幅な増加は見込めないことから、目標値は慎重に設定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	スポーツ実施率				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
50		R7	目標	41	42	43	44	
			実績	38.6	38.6	40.9		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		45	46	47	48	49	50	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
(指標の選定理由)墨東五区各種大会を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するかを図る必要があるため。 (目標値の理由)スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	墨東五区各種大会では、各種目を持ち回りで担当しているため、年度ごとの比較は困難であるが、毎年各種目の親睦及び技術の向上が図られている。

課題・問題点
毎年担当種目が異なるため、効率化を図る観点等から、一つの種目において事業運営方法を大幅に変えることは困難である。また、運営方法を変更する場合は、引き継ぎ方法等を踏まえ、全体で協議しなければならないため時間を要する。



事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		1,200	R7	目標	1,000	1,000	1,000	1,000
				実績	900	500	1,000	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	1,000	1,100	1,100	1,100	1,100	1,200
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由)民踊を披露する場及び交流の場として、継続して参加している区民の数を計測する必要があるため。 (目標値の理由)積極的な広報を行うとともに、ロコミ等による新たな参加者の増加も想定し、設定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	スポーツ実施率				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
50		R7	目標	41	42	43	44	
			実績	38.6	38.6	40.9		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		45	46	47	48	49	50	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
(指標の選定理由)区民納涼民踊大会を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するのかを図る必要があるため。 (目標値の理由)スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	昨今、参加者が急増し、区民相互の親睦・地域の活性化が図られている。今後も会場確保や誘客方策について、主管である墨田区民踊連盟及び実施場所の提供等で協力をいただいている東武タウンソラマチ(株)と協議していく。

課題・問題点
会場となっている東京スカイツリーのソラマチタウン1F広場が、今後も使用できるかどうか不明である。平成25年度から同施設で実施しているが、使用できなくなれば会場使用料が必要になる場合も考えられる。



事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数				単位	人
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		750	R7	目標	700	700	700	700
				実績	681	431	669	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	700	750	750	750	750	750
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	(指標の選定理由)競技者として大会に参加する区民の数を計測する必要があるため。 (目標値の理由)スポーツに関心を持ち、体力・技術の向上を目的に競技者として大会に出場する参加者数の増を想定した。ただし、競技者の大幅な増加は見込めないことから、目標値は慎重に設定した。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	スポーツ実施率				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
50		R7	目標	41	42	43	44	
			実績	38.6	38.6	40.9		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		45	46	47	48	49	50	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
(指標の選定理由)姉妹区親善スポーツ大会を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するのかを図る必要があるため。 (目標値の理由)スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姉妹区としての区民交流事業であることから、費用対効果の観点では有効である。</li> <li>・新規参加者の増加や実施種目の見直しについて、共催する台東区と検討する必要がある。</li> </ul>

課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者が一定の選手に限られ、より広い区民の参加を促す必要がある。</li> <li>・実施種目を見直してほしいとの要望もあることから、共催する台東区と検討する必要がある。</li> </ul>

施 策	522	区民が自由にスポーツを楽しむ機会をつくる			部内優先順位
事 業 名	ホームタウン・スポーツチームの育成経費				9
目 的	墨田区をホームタウンとするスポーツチームを育成することにより、スポーツ振興を通じた地域コミュニティ活動の形成や活性化を図る。また、トップアスリートとの交流を通じて、子どもたちの体力向上を図る。				主管課・係(担当)
					スポーツ振興課スポーツ振興担当
					5608-6312
対 象 者	墨田区ホームタウン・スポーツチーム(フウガドールすみだ、FC東京バレーボールチーム) 小学校児童を中心とした区民				
根拠法令 関連計画	スポーツ基本法第22条				
実施基準	法令基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	(人員体制)常勤3人 (委託先)フウガドールすみだ、FC東京バレーボールチーム
	1 トップチームやアスリート等との交流 スポーツイベント、クリニック、ファン交流会の開催等 2 地域コミュニティ活動の形成 PFI事業者が主体となり、体育協会、サポーターズ、町会、地元商店街、総合型地域スポーツクラブ等と連携した地域密着支援組織を設置する。				
経 過	開始年度	平成22年度	終了予定		
	平成22年度に総合体育館が開館し、総合体育館をホームタウンとするスポーツチームを誘致・育成することにより、スポーツ振興を通じた地域コミュニティ活動の形成や活性化を図る。また、総合体育館の3つの機能「する」「みる」「支える」を実現するための方策として推進している。 ・平成23年12月 フウガドールすみだと「墨田区ホームタウンチームの活動に係る連携に関する協定」を締結 ・平成30年 3月 FC東京バレーボールチームと「墨田区をホームタウンとして活動するFC東京バレーボールチームの連携に関する協定」を締結				
議会質問 の 状 況	<b>【H27決算特別委員会(11.4)松本委員】</b> ①全庁的にもホームタウン・スポーツチームの認知度を上げる必要があるが。 →職員向けの福利厚生事業として、フウガドールすみだの試合チケットのあっせん、また、職員向けPR用の広報紙を掲示板に掲出したこともある。全庁で応援するためにも、全職員に知ってもらえる取組を進めていく。 ②川崎市はバスケットなど、いろいろなチームをホームタウンチーム化して応援している。例えば、フロンターレ川崎の後援会には補助金を出すなどしているがそういった配慮をしてはどうか。 →締結した協定に基づき支援を行っており、フウガが自立した運営を目指したいということで、財政援助のような直接的な援助は求めないとしている。ただ、ホームタウン・スポーツチームの育成経費を活用し、ファン交流イベントなども開催できる。 <b>【H28第1回定例会(2.26)西村議員】</b> ①「フウガドールすみだ」との連携や、今秋に開館予定のすみだ北斎美術館との共同事業等も検討すべき。 →フウガドールすみだや北斎美術館との連携についても、財団と協議していく。また、日常的な情報交換や打ち合わせに加えて、両者の連携が更に深まるよう、区からも助言をしていく。				
そ の 他 特 記 事 項					

予算・決算額推移(千円)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算現額(事業費)		2,834	1,682	615	615	615	978
決算額(令和元年度は見込み)		1,521	219	100	212	374	978
財 源	国						
	都						
	その他						
一般財源		1,521	219	100	212	374	978
執行率(%)		53.7%	13.0%	16.3%	34.5%	60.8%	100.0%

予算・決算の内訳 (単位:千円)									
平成29年度 (決算)			平成30年度 (決算)			令和元年度 (予算)			
節	概要	金額	節	概要	金額	節	概要	金額	
需用費	グッズ作成費	112	需用費	グッズ作成費	134	需用費	グッズ作成費	178	
委託料	イベント等委託	100	委託料	イベント等委託	240	委託料	イベント等委託	800	
事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	学校訪問教室				単位	回	
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
		12	R7	目標	10	10	10	10	
				実績	5	5	2		
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目標	11	11	11	12	12	12	
		実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由								
	(指標の選定理由)トップアスリートと交流する学校訪問教室の開催数を計測することで、スポーツをするきっかけとなる子ども及び競技として関わる子どもが増えることを期待しているため。 (目標値の理由)ホームタウン・スポーツチームは現在2チームあり、公式リーグの試合もこなしているため、訪問教室の過度な増加は見込めないことから、目標値は慎重に設定した。								
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	スポーツ実施率				単位	%	
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
		50	R7	目標	41	42	43	44	
				実績	38.6	38.6	40.9		
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目標	45	46	47	48	49	50	
実績									
指標の選定理由及び目標値の理由									
(指標の選定理由)ホームタウン・スポーツチームの育成事業を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するのかを図る必要があるため。 (目標値の理由)スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。									

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	・トップアスリートと交流できる学校訪問教室などは、参加者から好評をいただいております。地域活性化のために区が実施する必要性は高い。 ・「FC東京バレーボールチーム」は、ホームタウン協定を締結して間もないため、ホームタウン・スポーツチームとしての認知度が低いことから、「フウガドールすみだ」と併せて積極的にPRを行っていく。

課題・問題点
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームゲーム会場として使用する総合体育館の会場確保がかなり困難となっており、一般利用者(区民)との共存が課題である。</li> <li>・ホームタウンチームの認知度の上昇が課題である。</li> </ul>



事業の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	貸出コマ数				単位	コマ
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		850	R7	目標	1000	1000	1000	900
				実績	1036	1024	1034	941
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	900	900	850	850	850	850
	実績							
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	野球場利用コマ数をどれだけ確保したかを確認することができる。稼働率の低い土曜日、祝日については借上面数を縮小する方針であるため、目標値を落としている。							
	目的に 対する指標 (成果指標)	指標	利用率				単位	%
最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
80		R7	目標	80	80	80	80	
			実績	63.6	68	65.9		
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	
目標		80	80	80	80	80	80	
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
実際に利用した割合が確認できる。今年度から土曜日の借上面数を2面から1面に削減したため、利用率が目標に近づくものと考えられる。								

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
統合や縮小を検討	契約金額に対して利用料金収入が少ないため、稼働率に応じた借上面数の見直しを進める必要がある。他方、代替の施設がないため、すぐに廃止することは難しい。

課題・問題点
契約金額に対して利用料金収入が少ないため、財政上の観点から稼働率に応じた借上面数の見直しを進める必要がある。

補助金名称	墨田区体育協会補助金			主管課・係（担当）		
根拠法令	墨田区体育協会補助金交付要綱			スポーツ振興課スポーツ振興担当		
補助概要	墨田区体育協会に対し、区民体育大会及び区民体育祭等の区との共催事業や事務経費等について補助金を交付する。			5608-6312		
目的	墨田区体育協会に対し、区民体育大会及び区民体育祭等の区との共催事業や事務経費等について補助金を交付し、その運営等を支援することにより、本区におけるスポーツの振興と区民の体力向上を図る。					
対象	墨田区体育協会					
基準	区独自基準					
補助条件	1 区民体育大会経費及び区民体育祭経費 2 都民体育大会等に参加する選手・役員の派遣費 3 前二号に掲げるもののほか、区長が必要と認める経費					
経過	開始年度	昭和22年度	終了予定			
	昭和22年、憲法施行記念都民大会が開催されたことを契機に行われた。その後、種目や参加選手数が増えたことや、都民体育大会派遣選手の選考などから区民体育大会を春に、区民体育祭を秋に実施することとした。					
議会質問の状況	<b>【H29第3回定例会 中沢議員】</b> ①各体育協会加盟団体とオリンピック・パラリンピック大会に向けての連携について、現在どのような取組をされているのか。 →墨田区体育協会は、区内のスポーツ関連団体を取りまとめる重要な協会で、今後、各加盟団体と連携し、大会の機運を盛り上げ、これを契機とした区民の体力向上やスポーツを身近に感じられるような取組を展開していく。 ②オリンピック・パラリンピック期間中はボクシング競技が行われるため、ボクシング連盟の医事委員会、又は組織委員会から派遣される可能性があるかもしれませんが、本区の医療関係者も参加要請される可能性も想定できる。区の体育協会内に医事委員会を設立し、大会期間中にサポートできる体制を整えていくことが必要ではないか。 →医療体制に関する具体的な情報は、組織委員会や東京都から入っていない。今後、スポーツファーマシストをはじめとした資格のある医療関係者の把握に努めるなど、医療関係団体からさまざまな情報収集を行い、区として対応が求められる場合には、連携して取り組んでいく。また、体育協会内の医事委員会設置については、今後、都や組織委員会の動向を注視し、必要に応じて調整していく。					
その他特記事項	(他区の状況・年間スケジュール・関連部署等)					

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算額（事業費）		7,829	7,829	7,702	7,702	7,752	7,952
決算額（令和元年度は見込み）		7,230	7,042	7,639	7,525	7,692	7,952
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		7,230	7,042	7,639	7,525	7,692	7,952
執行率（％）		92.3%	89.9%	99.2%	97.7%	99.2%	100.0%

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数（区民体育大会及び区民体育祭）			単位	人	
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
		25,500	R7	目標	24,500	24,500	24,500	24,500
				実績	23,525	22,564	21,926	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
		目標	24,500	25,500	25,500	25,500	25,500	25,500
		実績						
		指標の選定理由及び目標値の理由						
		（指定の選定理由）競技者として大会に参加する区民の数を計測する必要があるため。 （目標値の理由）スポーツに関心を持ち、体力・技術の向上を目的に、競技者として大会に出場する参加者数の増を想定した。ただし、競技者の大幅な増加は見込めないことから、目標値は慎重に設定した。						
		目的に 対する指標 (成果指標)	指標	スポーツ実施率				単位
	最終目標値		目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
	50		R7	目標	41	42	43	44
				実績	38.6	38.6	40.9	
			R2	R3	R4	R5	R6	R7
	目標		45	46	47	48	49	50
実績								
指標の選定理由及び目標値の理由								
（指標の選定理由）区民体育大会・区民体育祭を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するのかを図る必要があるため。 （目標値の理由）スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。								
評価結果		評価についての説明・今後の方向性等						
現状維持		墨田区体育協会の加盟団体が区民体育大会等を主管して運営することで、専門性もあり民間委託等に比べ安価に運営することができている。						

課題・問題点	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・非加盟団体からの新たな加入申請については、実績内容を踏まえ、慎重に審査する必要がある。</li> <li>・区民の体力向上及びスポーツ精神の涵養を図ることを目的に、オリンピック競技の開催自治体として、当該協会が区とともにどのような役割を担えるかを協議していく必要がある。</li> </ul>	

補助金名称	区民納涼民踊大会補助金		主管課・係（担当）	
根拠法令	スポーツ振興事業補助金交付要綱		スポーツ振興課スポーツ振興担当	
補助概要	区民相互の親睦を深め、地域の活性化が図られるよう、毎年盆踊り大会を開催している。事業運営を円滑に行うため、墨田区民踊連盟に補助金を交付し、当該事業の運営管理を主管してもらっている。		5608-6312	
目的	民踊の知識・技術を持った民踊連盟に補助金を交付することで、事業運営をより円滑に行うため			
対象	墨田区民踊連盟			
基準	区独自基準			
補助条件	一般区民を対象として実施し、かつ、スポーツの普及・振興を目的とする事業			
経過	開始年度		終了予定	
	平成9年度までは北部と南部の2会場で実施 平成10年度～17年度：横網町公園で実施 平成18年度～23年度：錦糸公園で実施 平成24年度～現在：スカイツリータウンで実施			
議会質問の状況				
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）			

予算・決算額推移（千円）		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
予算額（事業費）		967	1,027	1,030	1,030	1,030	1,020
決算額（令和元年度は見込み）		949	1,009	1,018	1,009	1,009	1,020
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		949	1,009	1,018	1,009	1,009	1,020
執行率（%）		98.1%	98.2%	98.8%	98.0%	98.0%	100.0%

補助金の 成果	手段に 対する指標 (活動指標)	指標	延参加者数				単位	人	
		最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1	
		1,200	R7	目標	1,000	1,000	1,000	1,000	
				実績	900	500	1,000		
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		目標	1,000	1,100	1,100	1,100	1,100	1,200	
		実績							
		指標の選定理由及び目標値の理由							
		(指標の選定理由) 民踊を披露する場及び交流の場として、継続して参加している区民の数を計測する必要があるため。 (目標値の理由) 積極的な広報を行うとともに、口コミ等による新たな参加者の増加も想定し、設定した。							
		目的に 対する指標 (成果指標)		指標	スポーツ実施率				単位
最終目標値	目標年度				基準年(H28)	H29	H30	R1	
50	R7			目標	41	42	43	44	
				実績	38.6	38.6			
	R2			R3	R4	R5	R6	R7	
目標	45			46	47	48	49	50	
実績									
指標の選定理由及び目標値の理由									
(指標の選定理由) 区民納涼民踊大会を実施することにより、「週に1回以上運動・スポーツをしている」区民がどの程度変化するのかを図る必要があるため。 (目標値の理由) スポーツ実施率を向上させるためには、健康志向の高まり等、様々な要因が関係しており、長期的な視点が必要となるため目標値は慎重に設定した。									
評価結果				評価についての説明・今後の方向性等					
改善・見直しのうえ継続		昨今、参加者が急増し、区民相互の親睦・地域の活性化が図られている。今後も会場確保や誘客方策について、主管である墨田区民踊連盟及び実施場所の提供等で協力をいただいている東武タウンソラマチ(株)と協議していく。							

課題・問題点	
<p>会場となっている東京スカイツリーのソラマチタウン1F広場が、今後も使用できるかどうか不明である。平成25年度から同施設で実施しているが、使用できなくなれば会場使用料が必要になる場合も考えられる。</p>	